

# 国の支援で病院を守れ

横浜市会議員 こんの典人

市も医療機関を支援

横浜市では、医療機関

等へマスクや消毒液などの感染防止資機材を調達

し配布、コロナ感染症病

床確保、重症・中等患者

受け入れ奨励など、財政

面から様々な支援を行

っています。しかし、

病院存続の危機とも言え

る状況であり、国からの

緊急的な財政支援が必要

と考えます。

横浜市立市民病院でも

4月(単月)の経常収益

が、昨年と比べ30%減少

していました。

「病院の危機」がマス

コミで取り上げられてい

ることから、新型コロナ

ウイルス感染症による医

療機関への影響を調べて

みました。

2月6日から受入

市民病院は、2月6日

からコロナ患者を受け入

れてきました。患者の受

入れには、医師や看護師

など医療現場の負担が大

きく、例えば、その他の

手術の変更を行うなど、

体制を整えてきました。

一方で市民の間には、

受診を自粛することも

あったと言われている

す。

病院経営に影響大

この様な状況は、神

奈川県病院協会が実施した緊急調査(新型コロナウイルス感染拡大による病院経営状況)にも表れています。コロナ患者入院受入れの有無にかかわらず、昨年4月との比較において、外来23%減少、入院、手術件数も減少しています。とりわけコロナ患者入院受入れ病院においては、病床利用率が12.6ポイント減少、手術や救急受入件数は32%減少しており、病院経営に大きな影響が出

ています。

立憲・国民フォーラム  
こんの典人事務所

緑区鴨居3-1-14-105

☎045-929-3030

FAX045-342-4330

✉konno@konno-norito.com

http://konno-norito.com/

市民相談を受け付けています。お気軽にご連絡下さい。